

令和7年9月11日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院先端科学研究部長
磯部 博志（公印省略）

熊本大学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 構造材料物性学分野
准教授候補者の公募について

標記のことについて、本学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 構造材料物性学分野 准教授候補者の公募を行うことになりました。

ついては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴機関において適任者がおられましたら、下記により貴機関において周知頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名及び人員 准教授 1名
2. 採用時期 令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期
3. 所 属 熊本大学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 構造材料物性学分野
4. 専門分野 材料力学特性および材料組織評価（構造材料の機械的性質、破壊と疲労、結晶塑性、微細組織、トランススケール力学試験等）に関わる研究分野
5. 担当科目 学部・大学院における物質材料工学に関する講義・演習・実験科目、特に大学院においては上記専門分野に関する科目、ならびに教養科目
6. 応募期限 令和7年10月15日（水）必着
7. 応募資格
 - （1）博士の学位あるいはPhDを有する人
 - （2）材料力学特性および材料組織評価（構造材料の機械的性質、破壊と疲労、結晶塑性、微細組織、トランススケール力学試験等）に関する研究経験と基盤技術を有し、結晶材料を広く網羅する結晶塑性のデータサイエンス的かつ実験的理解を介した新領域「トランススケール力学特性制御の材料科学」に関する組織横断型拠点形成に資する研究のできる方
 - （3）上記の専門分野において、優れた研究業績を有する方
 - （4）国際的な連携ならびに産・官界や地域社会と連携した活動に熱意のある方
 - （5）学内の業務遂行及び運営に積極的な方
 - （6）英語でのコミュニケーションと英語による指導や講義ができる方
 - （7）外国人の場合には、学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方
8. 労働条件等
 - （1）職務内容 :（雇入れ直後）准教授としての業務に従事する
（変更の範囲）熊本大学の定める業務
 - （2）勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制

勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす

- (3) 任期の定め : なし
- (4) 試用期間 : 6 か月
- (5) 勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学黒髪地区
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (6) 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- (7) 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- (8) 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

9. 提出書類

- (1) 履歴書 (様式なし、市販のもので可) 1 部
写真を貼付し、連絡先欄に E メールアドレスを記入すること。なお、男女を問わず、出産、育児、介護に専念 (あるいは従事) した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。
- (2) 申告書 (下記 URL のテンプレートを利用してください) 1 部
<https://www.msre.kumamoto-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/template1.docx>
- (3) 業績一覧 1 部
Impact Factor 付き学術論文誌に掲載された (掲載決定済みを含む) 学術論文、国際会議論文、総説・解説、著書、登録特許、講演 (招待講演・一般講演の別を明記)、受賞歴、研究助成等 (代表・分担の別を明記)、教育実績、その他 (国際的な活動など) 書式は、下記 URL のテンプレートを使用して下さい。
<https://www.msre.kumamoto-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/template2.docx>
- (4) 主要論文 5 編の別刷り (コピー可) 1 部
- (5) 現在までの研究概要 (A4 用紙に 2000 字程度) 1 部
- (6) 今後の研究計画と抱負 (A4 用紙に 1000 字程度) 1 部
- (7) 学生の教育に対する抱負 (A4 用紙に 1000 字程度) 1 部
- (8) 所見を求めうる方 (2 名) の氏名・所属・連絡先 1 部
連絡先は、E メールアドレス及び電話番号を記入すること。

10. 提出方法 上記提出書類をプリントしたもの 1 部と、その PDF ファイルを納めた CD-ROM あるいは USB メモリを同封した封筒に「大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 構造材料物性学分野教員 (准教授) 応募書類」と朱書きし、下記書類提出先に簡易書留にて郵送願います。

11. 選考方法 第一次選考 書類審査 令和 7 年 11 月上旬の予定
第二次選考 面接審査 令和 7 年 11 月下旬の予定
※面接時の旅費・宿泊等の移動に関する経費は自己負担となります。
なお、状況により遠隔による面接を行う場合があります。

12. 書類提出先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
熊本大学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 (工学部材料・応用化学科)
教授 眞山 剛
TEL: 096-342-3946 (直通) E-mail: mayama@kumamoto-u.ac.jp

13. 問合せ先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
熊本大学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門（工学部材料・応用化学学科）
教授 峯 洋二
TEL: 096-342-3713（直通） E-mail: mine@msre.kumamoto-u.ac.jp

14. その他

- （１）応募書類に含まれる個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。なお、応募書類及び提出物は返却いたしません。
- （２）熊本大学はダイバーシティを推進しています。詳細はホームページをご覧ください。
<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>
- （３）選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- （４）業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。
- （５）熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜准教授の場合＞800 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct